

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-215894

(43)Date of publication of application : 19.08.1997

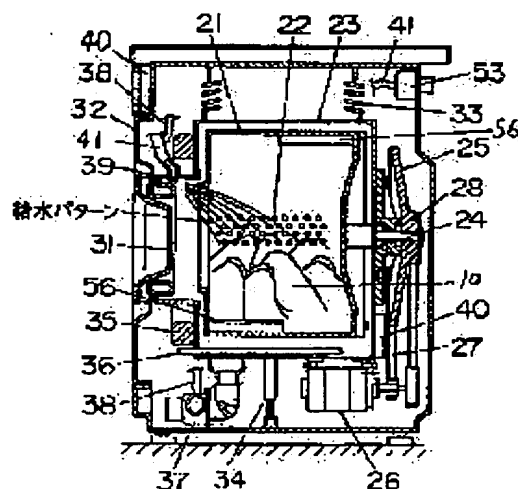
(51)Int.Cl.:

D06F 37/04

(21)Application number : 08-027544 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 15.02.1996 (72)Inventor : IWAKIRI SHUNICHI
OTSUKA KIMIHIKO
SUMIYA KATSUHIKO

(54) WASHING MACHINE



(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a washing machine which can increase the efficiency of washing, rinsing, etc., by preventing twisting of the washing caused by a plurality of baffles provided on the peripheral surface of a washing/spin-drying tub.

SOLUTION: This washing machine has a washing/spin-drying tub 21, having a horizontally rotating shaft 24 and having a water hole 22 provided on its outer periphery, and a controller 40 for controlling current passed to a motor 26 that drives and rotates the tub 21. The tub 21 has a plurality of baffles 56 provided along the direction of the axis of its interior wall part, the baffles 56 being shorter than the tub 21 with at least one of them deviating from the others in the

direction of the axis,; the control means 40 drives and rotates the tub 21 back and forth, so that the washing machine that is efficient in washing, rising, etc., can be obtained.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 13.12.2001

[Date of sending the examiner's decision] 23.03.2004

BEST AVAILABLE COPY

of rejection]

[Kind of final disposal of application
other than the examiner's decision of
rejection or application converted
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-215894

(43) 公開日 平成9年(1997) 8月19日

(51) Int. Cl.
D 0 6 F 37/04

識別記号 庁内整理番号

F 1
D 0 6 F 37/04

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-27544
(22) 出願日 平成8年(1996) 2月15日

(71) 出願人 00005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地
(72) 発明者 岩切 俊一
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内
(72) 発明者 大塚 公彦
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内
(72) 発明者 角谷 勝彦
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内
(74) 代理人 弁護士 滝本 智之 (外 1 名)

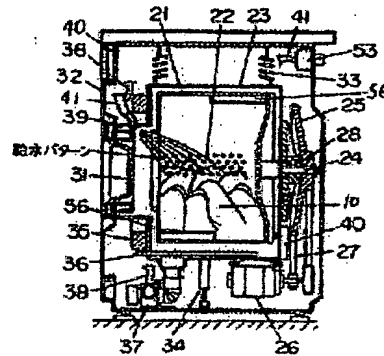
(54) 【発明の名称】 洗濯機

(57) 【要約】

【課題】 洗濯兼脱水槽の周囲に設けられた複数のパッフルにより引き起こされる洗濯物のからまりを防止し、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる洗濯機を提供することを目的とする。

【解決手段】 水平方向に回転軸24を有し外周に通水孔22を設けた洗濯兼脱水槽21と、洗濯兼脱水槽21を回転駆動するモータ26への通電を制御する制御装置40とを備え、洗濯兼脱水槽21は内周部の軸方向に複数のパッフル36を設け、かつこれらのパッフル36は洗濯兼脱水槽21の幅よりも短く、少なくとも一つは軸方向にずらして配し、前記制御手段40は前記洗濯兼脱水槽21を正逆回転駆動することにより、洗濯・すすぎ等の効率の良い洗濯機を提供できる。

21…ドラム
22…通水孔
23…水筒
24…回転軸
26…駆動モータ
32…本枠
40…制御手段
36…パッフル



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水平方向に回転軸を有し周面に通水孔を設けた洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽を内包する水槽と、前記洗濯兼脱水槽を回転駆動するモータと、前記モータへの通電を制御する制御手段とを備え、前記洗濯兼脱水槽の内壁部には回転軸方向に複数のパッフルを設け、かつこれらのパッフルは前記洗濯兼脱水槽の幅よりも短く、少なくとも一つは回転軸方向にずらして配し、前記制御手段は前記洗濯兼脱水槽を正逆回転駆動することを特徴とする洗濯機。

【請求項 2】 パッフルの表面を凹凸状とした請求項 1 記載の洗濯機。

【請求項 3】 凹凸状を波形状とした請求項 2 記載の洗濯機。

【請求項 4】 凹凸状をディンプル状とした請求項 2 記載の洗濯機。

【請求項 5】 パッフル表面の洗濯物を持ち上げる面に、水平な方向に延びる凹部及び凸部を形成し、パッフル表面の前記洗濯兼脱水槽の側面に接していない端面には洗濯兼脱水槽の回転中心方向に延びる凹部及び凸部を形成した請求項 2 記載の洗濯機。

【請求項 6】 洗濯兼脱水槽の側面側に位置するパッフルの一端の高さがその他端面の高さより高く設定した請求項 1 記載の洗濯機。

【請求項 7】 パッフルは洗濯兼脱水槽の前部側に位置する複数の前パッフルと、後部側に位置する複数の後パッフルからなり、前記前パッフルと後パッフルとは洗濯物の前後方向の移動に差が生じるように設定したことを特徴とする請求項 1 記載の洗濯機。

【請求項 8】 前パッフルと後パッフルの高さを異ならせた請求項 7 記載の洗濯機。

【請求項 9】 前パッフルと後パッフルの長さを異ならせた請求項 7 記載の洗濯機。

【請求項 10】 前パッフルと後パッフルの高さおよび長さを異ならせた請求項 7 記載の洗濯機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、水平方向に回転軸を有し周面に通水孔を設けた洗濯兼脱水槽を用い、洗濯物の洗濯やすすぎ等を行う洗濯機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の洗濯機について図 16 を用いて説明する。図に示すように、同一方向に回転する洗濯兼脱水槽 3 の内壁部には 6 個のパッフル 9 が設けられ、これらパッフル 9 は洗濯兼脱水槽 3 の回転軸方向すなわち水平方向に配され、しかも交互に前後にずらして設けられている。洗濯・すすぎ等の際には洗濯兼脱水槽 3 を図 17 に示すように同一方向、すなわち A 方向に回転させ、その内部の洗濯物をこのパッフル 9 に引っかけて持ち上げ、適当な高さとなったときに落下させ、洗濯兼脱水槽

3 の内底部に衝突させていた。そしてその衝撃力により洗濯物をたたき洗いしていた。またこのパッフル 9 の幅 W2 は洗濯兼脱水槽 3 の幅 W1 の約半分の長さであるために、パッフル 9 の設けられていない部分から、洗濯物 10 がひねるようになれ落ちるため、落下する洗濯物 10 に矢印 B 方向のひねり力が加わり、このひねり力によるひねり洗いの効果もあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来の構成では、洗濯兼脱水槽 3 が同一方向（矢印 A 方向）にしか回転しないので、パッフル 9 により洗濯物に常に同じ向き、すなわち矢印 B 方向のひねり力が加わらず、よって洗濯兼脱水槽 3 の回転が進行していくにつれて洗濯物 10 がからまり、洗濯・すすぎ等の効率が悪くなるという課題を有していた。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために本発明は、水平方向に回転軸を有し周面に通水孔を設けた洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽を回転駆動するモータへの通電を制御する制御手段とを備え、前記洗濯兼脱水槽は内壁部の回転軸方向に複数のパッフルを設け、かつこれらのパッフルは前記洗濯兼脱水槽の幅よりも短く、少なくとも一つは回転軸方向にずらして配することにより、洗濯物にひねり力を加えて洗濯・すすぎ等の効率を高め、また前記制御手段により前記洗濯兼脱水槽を正逆回転駆動するので、洗濯兼脱水槽を逆転することで洗濯物に加えるれじれを逆方向とすることができ、洗濯物のからまりを防ぐことができるとともに、洗濯兼脱水槽を逆転する場合の衝撃力等により洗濯物を前後方向に移動させることがで、均一な洗濯・すすぎ等が行える。

【0005】

【発明の実施の形態】 本発明の請求項 1 に記載の発明は、水平方向に回転軸を有し周面に通水孔を設けた洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽を内包する水槽と、前記洗濯兼脱水槽を回転駆動するモータと、前記モータへの通電を制御する制御手段とを備え、前記洗濯兼脱水槽は内壁部の回転軸方向に複数のパッフルを設け、かつこれらのパッフルは前記洗濯兼脱水槽の幅よりも短く、少なくとも一つは回転軸方向にずらして配することにより、洗濯物にひねり力を加えて洗濯・すすぎ等の効率を高め、前記制御手段は前記洗濯兼脱水槽を適当なタイミングで逆回転させることにより、洗濯物のひねり方向を正転の場合と逆方向にし、洗濯物のからまりを防ぎ、かつ洗濯兼脱水槽を逆転する場合の衝撃力等により洗濯物を前後方向に移動させることがで、均一な洗濯・すすぎ等が行える。

【0006】 本発明の請求項 2 記載の発明は、パッフルの表面を凹凸状としたもので、洗濯物がパッフルを滑り落ちる際にパッフル表面の凹凸が洗濯板と同じ働きを

し、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。また請求項 3、4記載の発明は、バッフル表面の凹凸状を波形状またはディンプル状としたもので、同様に洗濯板の働きが得られ、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0007】本発明の請求項 5に記載の発明は、バッフル表面の洗濯物を持ち上げる面に、水平方向に延びる凹部及び凸部を形成し、バッフル表面の前記洗濯兼脱水槽の側部に接していない端面には洗濯兼脱水槽の回転中心方向に延びる凹部及び凸部を形成したもので、バッフルの端面から滑り落ちる洗濯物に対してもバッフル端面に形成した凹部及び凸部が洗濯板と同等の働きをし、洗濯物を持ち上げる面以外の端面においても洗濯・すすぎのための機械力が得られ、より一層洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0008】本発明の請求項 6に記載の発明は、洗濯兼脱水槽の側部に位置するバッフルの一端の高さがその他端側の高さより高く設定したもので、洗濯兼脱水槽の回転により洗濯物がバッフルの高い側からバッフルの低い側に移動し、結局、洗濯物はバッフルの低い側から落下することとなり、洗濯物を洗濯兼脱水槽の中央側に落下させることができ、洗濯物を常にバッフルに引っかけて持ち上げ落下させることができる。

【0009】本発明の請求項 7に記載の発明は、バッフルを、洗濯兼脱水槽の前部側に位置する複数の前バッフルと、後部側に位置する複数の後バッフルとから構成し、前バッフルと後バッフルとは洗濯物の前後方向の移動に差が生じるように設定されているもので、前後バッフルの働きにより洗濯兼脱水槽の回転中に洗濯物を前後方向に移動させることができ、洗濯兼脱水槽の回転時に洗濯物の前後の動きが増大し、洗濯・すすぎむらをなくし、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。また請求項 8、9、10に記載の発明は、前バッフルと後バッフルの高さ、長さ、さらには高さ及び長さを異ならせているので、前バッフルと後バッフルとが洗濯物を前後に移動させるように作用し、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0010】

【実施例】

（実施例1）以下、本発明の第1の実施例を図1～図7により説明する。図1に示すように、ドラム（洗濯兼脱水槽）21は、周囲全面に多数の排水孔22を設け、水槽23内に水平方向に回転自在となるように配設している。ドラム21の後面側に回転軸24の一端を固定し、回転軸24の他端に径大のドラムプーリー25を固定している。洗濯モータ26は、ベルト27により径大のドラムプーリー25と連結し、ドラム21を回転駆動する。また、回転軸24の一端には径小のドラムプーリー28を固定し、図2に示すように、脱水モータ29の回転力がベルト30を介して径小のドラムプーリー28に

伝達する構成である。

【0011】洗濯モータ26は、ドラム21を低速（たとえば、53rpm）で回転させるものであり、脱水モータ29は、ドラム21を高速（たとえば、1000rpm）で回転させる。これら洗濯モータ26及び脱水モータ29は、インダクションモータで構成し、また、それぞれの回転力を伝達するためのドラムプーリー25、28はそれぞれ異なった減速比を有している。

【0012】洗濯及びすすぎ時には、洗濯モータ26の回転力を減速比が大きい径大のプーリー25に伝達してドラム21を低速回転させ、脱水時には、洗濯モータ26でドラム21をある回転数まで立ち上げてから脱水モータ29を回転させ、減速比の小さい径小のプーリー28を介して脱水モータ29の回転力を伝達し、ドラム21を高速回転させる。このように構成することで、脱水モータ29は大きな駆動トルクがなくても十分に高速回転まで立ち上げることができ、脱水モータ29の小型化が実現できる。

【0013】また、ドラム21の前面開口部と対向する水槽23前面にも開口部を設け、水槽23の開口部に蓋31を閉開自在に設けている。また、水槽23は、洗濯機本体32よりばね体33で吊り下げ、防振ダンパー34により、ドラム21を回転させる際に発生する振動が洗濯機本体32に伝達されないように防振支持するとともに、水槽23には重り35を設けて、ドラム21を高速回転させて洗濯物を遠心脱水させる際の振動を低減するようにしている。

【0014】水槽23の内底部側には加熱手段の一種であるヒータ36を配し、水槽23内に溜めた水を加熱するようにしている。ヒータ36は耐水性などを考慮し、好ましくはシーヒータを用いる。さらに、循環手段は、水槽23の底部に設けた開口部から水を吸い込む循環ポンプ37と、この循環ポンプ37の吐出口側に連結された循環ホース38と、この循環ホース38の一端側が連結され、ドラム21内に臨む吐出口39から構成されている。この吐出口39はドラム21の前面開口部に臨む位置で、かつドラム21の上方に配設され、ドラム21の中心部に向けて水を吐出するようにになっている。また、吐出口39は水道水をドラム21内に給水するための給水ホース41も接続されており、本体32の後方部に取り付けた給水弁53を開くことで水道水を吐出口39から吐出する構成である。

【0015】制御装置40は、洗濯モータ26、脱水モータ29、ヒータ36、循環ポンプ37、給水弁53などを制御するもので、図3に示すように構成している。制御手段40は、マイクロコンピュータで構成し、双方向性サイリスタなどで構成したパワースイッチング手段42～48のゲート61～67に制御信号を送出し、洗濯モータ26、脱水モータ29、ヒータ36、循環ポンプ37、給水弁53などの動作を制御する。パワースイッチ

ソング手段42はリレーコイル49への通電を制御し電源スイッチ50のオン・オフを制御する。パワースイッチソング手段45はリレーコイル51への通電を制御し、このリレー接点52a、52bのオン・オフを制御し、ヒータ36の通電制御を行う。なお、54は水槽23内に溜められた水位を検知するための水位検知手段で、例えば、水槽23内の水位が規定水位に達すると信号を出力するもの、あるいは水槽23内の水位を無段階に検知できるものであればよく、要は、水槽23内の水位が規定水位に達したか否かを検知できるものであればよい。また、55は水槽23内に溜まった水の温度を検知する温度検知手段で、この温度検知手段55の検知温度に基づいてヒータ36の通電を制御し、水槽23内の水温が30℃になるように温度調整を行う。

【0016】本発明の特徴であるバッフル56は図4(a)に示すように、ドラム21の内装部の回転軸方向に6個設けられている。バッフル56の幅W2はドラム21の幅W1の半分以上より長くとも良いが、あまり長すぎると後述するバッフル56によるひねり力が減るため、洗濯・すすぎ等の効率が落ち、またW2が短すぎると洗濯物が上がり上げられない部分が存在し、同様に洗濯・すすぎの効率が落ちるので、本実施例においては、バッフル56の幅W2は洗濯物にひねり力が加わる適当な長さであるドラム21の幅W1の約半分の長さとしている。ここで図1のドラム21において吐出口39等を設けている側を前部側、回転軸24等を設けている側を後部側とすると、6個のバッフル56は、図4(b)に示すようにドラム21の前部側に位置する前バッフル56aを120度間隔で3個配し、後部側に位置する後バッフル56bを120度間隔で3個配置している。前バッフル56aと後バッフル56bには0度のずれを設けている。またバッフル56は略三角柱の形状とし、板金製としてもよいが、好ましくは樹脂製として、バッフル56表面の凹凸の形成等が容易となるようにする。

【0017】以上のように構成された洗濯機の動作について説明する。蓋31を開きドラム21内に洗濯物および洗剤を投入し、蓋31を閉じて運転を開始すると、給水弁53を開き水道水を給水ホース41を介して吐出口39に送り出す。吐出口39はシャワー機構を有しており、ドラム21内の広範囲に垂れ水を吐出させる。この給水動作は水槽23内に規定水位の水が溜まるまで続行する。この規定水位はドラム21の最低底面より下方で、かつ、ヒータ36は水浸するような高さに設定している。

【0018】水槽23内の水位が規定水位に達したか否かは水位検知手段54により検知されており、制御装置40は水位検知手段54により規定水位に達したのを検知すると、制御装置40は循環ポンプ37を動作させて吐出口39から水をドラム21内に供給する。この循環ポンプ37を動作させると、循環ホース38内の水、ド

ラム21内に放出中の水、洗濯物56に吸水された水の重たけ水受槽23内の水位が低下するが、この水位の低下があれば水位検知手段54の検知水位が規定水位より低下するので、給水弁53による給水動作を続行し、規定水位に達すると吸水弁53を閉じる。

【0019】また、制御装置40は規定水位に達すると、ヒータ36を動作させるとともに、温度検知手段55により水槽23内の水温を検知し、検知した水温が30℃になるように温度調整を行う。ここで規定水位に到達するまでヒータ36への通電を行わない理由は、循環ポンプ37を動作させることにより、ヒータ36が水槽23に溜まった水の水面より上に露出してしまふのを確実に防止し、ヒータ36の空焼き状態を確実に防止するためである。なお、ヒータ36への通電を開始するタイミングとして、規定水位に到達するのに十分な遅延時間、例えば、給水弁53を開いた時点から5分間経過してからヒータ36に通電開始するようにしてもよい。

【0020】また、制御装置40は水位検知手段54の検知水位が規定水位に到達すると、洗濯モータ26に通電を行いドラム21を右側に回転させる。そして、洗濯モータ26への通電を停止し、次いで洗濯モータ26に通電を行いドラム21を左回転させる。洗濯モータ26への通電制御は、20秒のオン動作と3秒のオフ動作を繰り返して行う。洗濯モータ26をオンするとドラム21が回転し、ドラム21内の洗濯物10を持ち上げ、落下させる。ドラム21内底部に溜まらないような規定水位としているので、落下した洗濯物10はドラム21内面に直接衝突する。よって、ドラム21の内底部に水が溜まった状態に比べその落下衝撃力が増し、叩き効果の増大による洗浄効率の向上が図れる。また、落下した際に洗濯物56に含まれている水分がドラム21の通水孔22を通してスリーブ33に水槽23側に流出するので、洗濯物10中の汚れを含んだ水を効率よく洗濯物10外に流出させることができ、より一層の洗浄効率の向上が図れる。

【0021】次に、ドラム21を回転させる際のバッフル56の働きにつき説明する。まず、図4(a)に示すように、ドラム21が右回転（矢印A方向）すると、バッフル56により洗濯物10は持ち上げられ、さらに回転が進行してバッフル56が56が上方に移動していくと、バッフル56がない部分側に位置する洗濯物が下方に倒れ込み、矢印B方向のひねり力が加わりながら落下し、ドラム21の内底部に直接衝突する。これにより洗濯物10にたたき洗いの効果が加えられるとともに、ひねり力も加わり、洗浄性を向上させる。

【0022】また、図4(b)に示すように、バッフル56はドラム21の内底部に交互にずらして設けられているので、次は後側のバッフル56により洗濯物10は持ち上げられ、図5に示すように、バッフル56の位置が上方に移動していくと、上述した通りバッフル56のな

い部分側に位置する洗濯物10が割れ込み、同様にB方向にひねり力が加えられ落下する。ドラム21を右回転(A方向)に回転し続けると、洗濯物10に同一方向、B方向のひねり力が加わり、徐々に洗濯物10は絡んでくる。

【0023】そこで、制御装置40は右回転(A方向)に20秒間、回転させた後、3秒間の休止期間を挟んで、逆回転させる。つまり、図4(a)に示す矢印C方向にドラム21を回転させる。このドラム21の回転を逆転すると、洗濯物10には矢印B方向とは逆方向、すなわち矢印D方向のひねり力が加わるようになり、洗濯物10の絡まり取り除くようになる。

【0024】次に、ドラム21の回転を反転させる際の動作を図6により説明する。図6はドラム21を展開した状態を示しており、図に示すように、ドラム21の最底面近傍に洗濯物10が在る場合に、右回転(矢印A方向)から左回転(矢印B方向)へ回転方向を変化すると、洗濯物10はまずバッフル56bに接している部分が下に滑り落ち、いったん最底面付近においてやや直線状になる。その後左回転が進むにつれ、バッフル56bに接していた部分が次のバッフル56aにまず接するが、この際、バッフル56bに接する方向が逆転する。また洗濯物10の形状は通常不均一であるために、バッフル56bに接する方向が逆転することにより、移動の仕方・タイミング等が変化し、ドラム21同一方向の回転時にはない前後への大きな移動が促される。これにより洗濯物10にドラム21の前後方向への動きを出すことができ、吐出口39から吐出されるシャワー状の循環水を洗濯物10に均一にかけることができ、洗浄むらを抑制することができる。本実施例のように、吐出口39が1箇所しか設けられておらず、吐出口39からドラム21内に均一に散水しにくい場合には、洗濯物10を前後に移動させて均一に洗濯物に散水することが有効である。

【0025】以上の動作が洗濯工程時であり、洗剤が溶け込んだ洗濯水を循環させて洗濯を進行していくが、所定時間が経過すると、排水ポンプ(図示せず)を動作させて水槽23内の洗濯水を機外に排出し、洗濯工程を終了する。次に、ドラム21を高速回転させることにより洗剤分を含んだ洗濯水を洗濯物56から脱水したり、あるいは、ドラム21の高速回転中に給水弁53を開き、水道水を洗濯物10に当てながら脱水するようにすれば、洗濯物10内に含まれた洗濯水を脱水するとともに、洗濯物10中に残った洗剤分を給水弁53から供給される水道水などの清水で希釈することができ、次のすすぎ工程時間を短縮させることができる。なお、上記ドラム21を高速回転させる予備すすぎ工程においては、排水ポンプを動作させ、ドラム21から水槽23に流出する洗濯水を機外に排出するようにしている。この予備すすぎ工程においても、洗濯工程時にドラム21を正逆

回転させて、洗濯物10の絡みを少なくし、しかも前後に移動させるようにしているので、洗濯物を均一にすすぐことができ、また、高速回転時に発生する洗濯物10のアンバランス状態も低減することができる。

【0026】次のすすぎ工程でも、洗濯工程と同様な動作を行う。すなわち、規定水位まで給水し、循環ポンプ37を動作させて洗濯物に循環水をかけるとともに、ドラム21を回転させて洗濯物10を持ち上げて落下させる動作を行い、洗濯物10中に含まれている洗剤分を流出させる。このすすぎ工程においても、ドラム21を洗濯工程時と同様に正逆回転させて、洗濯物の絡みと前後の移動を行えるようにしている。そして、所定時間が経過すると排水ポンプを動作させて、水槽23内のすすぎ水を機外に排出し、すすぎ工程を終了する。なお、すすぎを含め入りに行いたい場合には、上記すすぎ工程を複数回行うようにしてもよいし、またドラム21を高速回転させる予備すすぎ工程をつけ加えてもよい。

【0027】そして、最終の脱水工程では、排水ポンプを動作させながらドラム21を高速回転させ、ドラム21内の洗濯物10内の水分を脱水する。この脱水工程は所定時間後に終了させる。この脱水工程においても、前のすすぎ工程においてドラム21を正逆回転させているので、高速回転時に発生する洗濯物10のアンバランス状態も低減することができる。

【0028】(実施例2)本発明の第2の実施例において、基本構成は第1の実施例と同様であるので説明は省略する。図7において、バッフル56の側部表面を凹凸状としている。このようにバッフル56の側部表面を凹凸状にすることにより、洗濯物がバッフル56に引っ掛かり持ち上げられた後に滑る際や、ある程度の高さの所で落下する際に、このバッフル56の凹凸状となった表面と擦れることにより、洗濯物が滑ったように汚れを落とす効果がある。

【0029】本実施例では、バッフル56の表面を凹凸状としたが、図8のように波形状としたり、図9のようにディンプル状にしてもほぼ同等の効果が得られることはいうまでもない。なお、バッフル56側部表面の波形状は図8(b)のように略半円にしても良いし、洗濯物と擦れやすくなるので図8(c)のように波形の頂点が下を向くようにしても良い。さらにバッフル56の表面に切り込みを入れたものでも良いし、洗濯、すすぎ効率を上げられるならばこれらに限定されるものではないことはいうまでもない。

【0030】さらに図10に示すように、バッフル56表面の洗濯物を持ち上げる面に水平方向に延びる凹部及び凸部を形成し、バッフル表面の前記洗濯物脱水槽の側部に接していない範囲には洗濯物脱水槽の回転中心方向に延びる凹部及び凸部を形成している。この構成によりバッフル56の端面から洗濯物が滑り落ちる際にも、洗濯板と同様の作用を与えることができ、洗濯、すすぎ等

の効率を上げることができる。

【0031】（実施例3）本発明の第3の実施例において、基本構成は第1の実施例と同様であるので説明は省略する。図11において、バッフル56の一端側はドラム21の側部に接するように設けられており、その一端側の高さt1は他端側の高さt2に比べ若干高くしている。この構成により、洗濯物はバッフル56のドラム側部に近い高い部分ではなく他端側の低い部分を乗り越えようとするか、バッフルの側部に接していない他端部からすれ落ちようとするので、洗濯物のひねり洗いの効果があると共に、洗濯物及び水がバッフルの低い方へ動こうとするのでドラム21の回転時においても前後への移動が増え、洗濯・すすぎむらをなくすることができる。

【0032】（実施例4）本発明の第4の実施例において、基本構成は第1の実施例と同様であるので説明は省略する。図12において、バッフル56はドラム21の前部側に位置する3個の前バッフルと、後部側に位置する3個の後バッフルを、一端はドラム21の側部に接するか、ほぼ接する位置に設けており、前バッフルと後バッフルの高さを異なる構成としている。すなわち前バッフルの高さt_aと後バッフルの高さt_bに設定している。このようにバッフル56の高さが異なると洗濯物が前後に動くバランスを崩し、ドラム21回転時に洗濯物が前後方向に動きやすくなり、洗濯・すすぎむらをなくし、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0033】また、図13に示すように、バッフル56はドラム21の前部側に位置する3個の前バッフルと、後部側に位置する3個の後バッフルを、一端はドラム21の側部に接するか、ほぼ接する位置に設けており、前バッフルと後バッフルの長さを異なる構成、例えば、前バッフルの長さl1>後バッフルの長さl2としても、同様の効果が得られ、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0034】なお本実施例においては、前バッフルと後バッフルの高さもしくは長さを異なる構成としたが、高さ・長さ共に異ならせても良いし、洗濯物が前後に動くバランスを崩せるならば、その他の方法を用いても同等の効果が得られることはいうまでもない。

（実施例5）本発明の第5の実施例を図14により説明する。図14において、ドラム21に設けた前バッフル56aと後バッフル56bの長さをドラム21の幅の半分より短く設定して、各バッフルの間に隙間8を設ける構成である。この構成により、洗濯物10に屈曲部10aが発生し、この部分に曲げ力が与えられるので、洗濯・すすぎ等の性能を向上させることができる。

【0035】また、逆に、図15に示すように、前バッフル56aと後バッフル56bとがオーバーラップ（長さTのオーバーラップ）するようにすると、小さな洗濯物がバッフルにより持ち上げられ隙間に陥入して落下することがなく、小さな洗濯物でも上方まで持ち上げて落下させ

ることができ、洗濯・すすぎ性能を維持することができる。

【0036】なお、上記各実施例においては、バッフル56の数を5個としたが、4個でも5個でもまたそれ以外でも、洗濯・すすぎ等の効率を上げられるならばバッフル56の数は限定されるものではないことはいうまでもない。また上記各実施例においては、バッフル56の隙間は前後交互にかつ等間隔にずらしているが、洗濯・すすぎ等の効率を上げられるならば前後交互もしくは等間隔でなくとも良いことはいうまでもない。

【0037】また上記各実施例においては、バッフル56をドラム21の回転軸に対して平行に取り付けているが、これに限定されるものではないことはいうまでもない。また上記各実施例においては、バッフル56を略三角柱としているが、三角錐型でも四角柱型でもそれ以外でも、洗濯効率を上げられる形状ならば形状は問わないことはいうまでもない。

【0038】同様に図7に示すように前バッフルと、後バッフルの間に隙間8がある際に、右回転（実線方向）から左回転（斜線方向）へ回転方向を変化すると、まずバッフル56bに接していた部分が次のバッフル56bに接し、

【0039】

【発明の効果】上記実施例から明らかなように、請求項1記載の発明によれば、ドラムが左右両方に回転するので、洗濯物に加わるひねり方向が一方向となることがなく、洗濯物の絡みを防止できるとともに、前後方向への移動も促進することができ、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0040】また、本発明の請求項2記載の発明によれば、バッフルの表面を凹凸状としたので、洗濯物がバッフルを滑り落ちる際にバッフルの表面が洗濯板と同じ働きをし、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

また、本発明の請求項5に記載の発明によれば、バッフル表面の洗濯兼脱水槽の側部に接していない端面にも洗濯兼脱水槽の回転中心方向に延びる凹部及び凸部を形成しているので、バッフルの端面から滑り落ちる洗濯物に対してバッフル端面に形成した凹部及び凸部が洗濯板と同等の働きをし、洗濯物を持ち上げる面以外の端面においても洗濯・すすぎのための機械力が得られ、より一層洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【0041】また、本発明の請求項6に記載の発明によれば、洗濯兼脱水槽の側部側に位置するバッフルの一端の高さがその他端側の高さより高く設定しているため、洗濯兼脱水槽の回転により洗濯物がバッフルの高い側からバッフルの低い側に移動し、結局、洗濯物はバッフルの低い側から落下することとなり、洗濯物を洗濯兼脱水槽の中央側に落下させることができ、洗濯物を常にバッフルに引っかけて持ち上げ落下させることができる。さらに、バッフルによる洗濯物のひねり力及び洗濯物の前

後への移動が増えるので、洗濯・すすぎむらをなくすことができる。

【0042】さらに請求項 7 に記載の発明によれば、前パッフルと後パッフルにより洗濯物の前後方向の移動に差をもたせたので、洗濯物が前後に動くバランスを崩し、洗濯物が常に同じ動きをすることを防ぐことにより、あらゆる角度において洗濯を行えるので、洗濯・すすぎむらをなくし、洗濯・すすぎ等の効率を上げることができる。

【図面の簡単な説明】

- 【図 1】本発明の第 1 の実施例における洗濯機の断面図
 【図 2】同洗濯機の一部切り欠き背面図
 【図 3】同洗濯機のブロック回路図
 【図 4】(a) 同洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図
 (b) 同洗濯機のドラム の断面図
 【図 5】同洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図
 【図 6】同洗濯機のドラム の一部展開図
 【図 7】本発明の第 2 の実施例における洗濯機のパッフルの斜視図
 【図 8】(a) 本発明の他の実施例におけるパッフルの斜視図
 (b) 同パッフルの断面図
 (c) さらに他の実施例を示すパッフルの断面図
 【図 9】(a) 本発明のさらに他の実施例を示すパッフルの斜視図

(b) 同パッフルの断面図

【図 10】本発明のさらに他の実施例を示すパッフルの斜視図

【図 11】本発明の第 3 の実施例における洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図

【図 12】本発明の第 4 の実施例における洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図

【図 13】本発明の他の実施例における洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図

【図 14】本発明の第 5 の実施例における洗濯機のドラム の一部展開図

【図 15】本発明の他の実施例における洗濯機のドラム の一部展開図

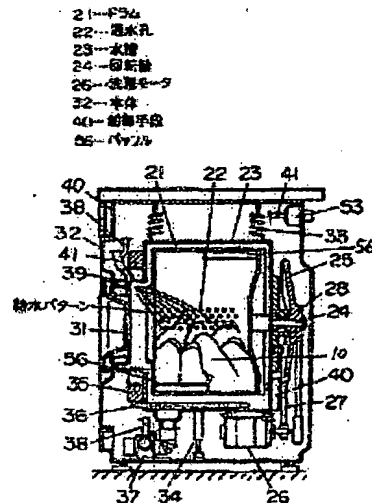
【図 16】従来の洗濯機の内部構成を示した斜視図

【図 17】同洗濯機のドラム の一部切り欠き斜視図

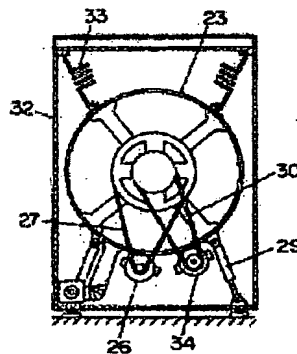
【符号の説明】

- 21 ドラム (洗濯兼脱水槽)
 22 排水孔
 23 水槽
 24 回転軸
 26 洗濯モータ
 29 脱水モータ
 40 制御装置
 56 パッフル

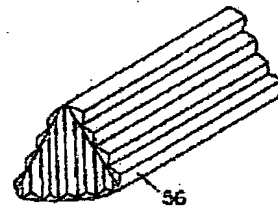
【図 1】



【図 2】



【図 10】



【図 14】

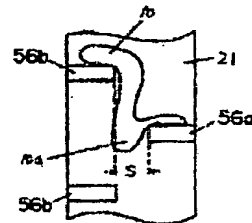
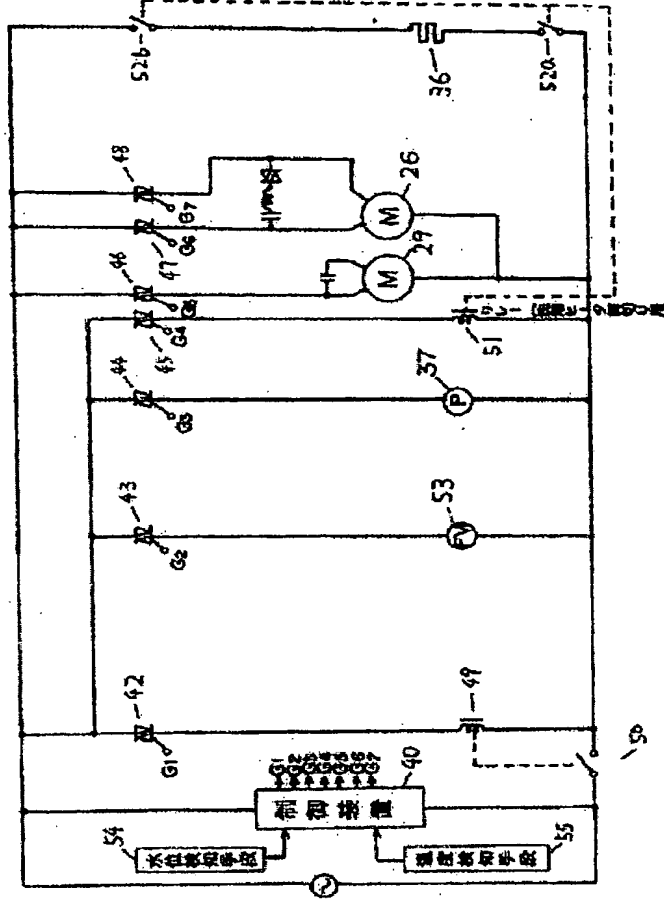
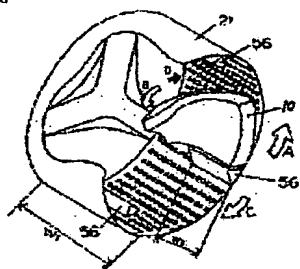


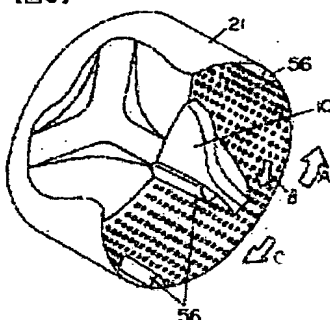
图 3



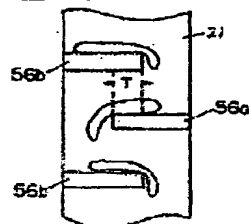
【圖 4】
[a]



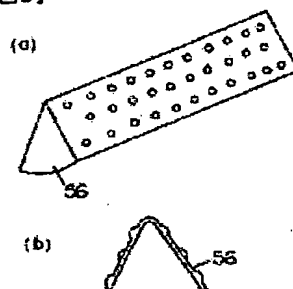
【圖5】



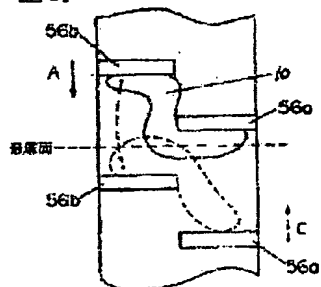
[图 15]



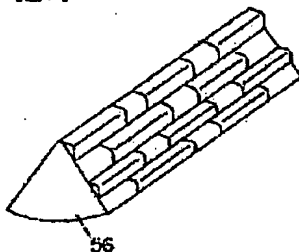
【圖9】



· [图.6]



【圖 7】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.